

ふるさと

第34号



ムラサキシキブ

目次

2021 第2回麻生ふるさと交流会

【講演：どうなるオリンピック
消えゆく栄光と輝き】……………(1)

講演要旨：どうなるオリンピック……………(4)

2020 東京五輪・観賞日記……………(7)

三角点のこと(2)～等級・構造～……………(13)

発行：2021年10月23日(第34号)

発行：麻生ふるさと交流会事務局

担当：平塚 征英、横田 彰夫

麻生ふるさと交流会

表紙写真：平塚 征英 さん

タイトル：ムラサキシキブ

年 月 日： 2021. 9. 19

場 所：川崎市麻生区、ヨネッテイ

記 事：

朝の散歩コースのひとつ御嶽道。青葉区と宮前区の市境尾根道は、昔は奥多摩御嶽神社参拝の道だった。片道 2 時間コースの場合は、帰路はバス利用です。

「麻生ふるさと交流会」ホームページ

<http://web-asao.jp/hp2/asao-furusato/>

2021年度第2回麻生ふるさと交流会

場所:麻生市民交流館やまゆり
日時:7月17日(土)13:30~16:00
参加人数:20名
(会場:18名、Zoom2名)

第1部 麻生ふるさと交流会:・・・(13:30~16:00) 司会 辻村副会長



受付ご苦労さん:1F ロビー



今回は Zoom 併用です



プレゼン準備中



参加者の皆さん:やまゆり会場での集まりは去年の秋以来。久しぶり!

1. 開会の辞.....辻村副会長
2. 講演:どうなるオリンピック 消えゆく栄光と輝き・・・(13:35~15:05)

講師:佐藤次郎 様(スポーツライター・やまゆり理事)

★ 講演要旨をp3~に掲載します。詳細をご案内下さい。



◇ **愛されないオリンピック**

間もなく開幕する二度目の東京大会。史上初めて、愛されも、歓迎もされないオリンピックになってしまった。

◇ **なぜ、そうなったのか**

愛されないオリンピックになった原因は、

- ① 念なきトップ
 - ② 前例のない状況への無策
 - ③ オリンピック、IOCを絶対視、特別視し過ぎたから
- の3点。
- ① 象徴はこの人物。これまでの大会を踏襲することしか考えなかった。



スポーツ界も独自の考えを示せないまま、大勢に従った。



◇ **どうしていいか、わからなかった**

中止や延期の前例はない。

組織委トップも、都庁側も、政権中枢でさえ、どうしていいか、うろたえるばかりだった。

◇ **日本は五輪を神聖視し過ぎる**

オリンピックはそれほど神聖なものではない。日本はそれを特別視し過ぎている。

IOCについても同様。

◇ **その結果、五輪離れが加速**

説明抜きの強行開催。それで多くの人がそっぽを向いた。



◇ **五輪の危機、以前から**

◇ **巨大化が進む大会**

◇ **カネのかかる五輪、ますます**

◇ **IOCも危機感を抱いた**

◇ **「アジェンダ2020」の意味とは**

◇ **そして誰もいなくなった「2022年」**

◇ **夏季大会でも辞退続々**

◇ **どこへ行く オリンピック**

◇ **危機に輪をかけたコロナ禍**

◇ **コロナが突きつけた課題**

◇ **いま、何をすべきか**

◇ **オリンピック競技とは？**

◇ **いまこそ「未来」を考える時**

3. **懇談：オリンピック・パラリンピックの関心事**

15:10～15:50

会員により、関心事を語り合いました。

- @個別の競技、@選手、@入場式・開会式、@特定の参加国、@定員について、
- @メダルの数、@開会中または閉会後のコロナの状況について、@開催国日本の評価、
- @マスコミの姿勢の変化、@世論の変化、@などなど

4. **会歌の合唱**

久しぶりの顔をご覧下さい。(説明なし)



【講演要旨】 どうなるオリンピック

～消えゆく栄光と輝き～

講師・佐藤 次郎
(担当者が編集)

◇ 愛されないオリンピック

間もなく開幕する二度目の東京大会。史上初めて、愛されも、歓迎もされないオリンピックになってしまった。

◇ なぜ、そうなったのか

愛されないオリンピックになった原因は、

- ④ 念なきトップ
- ⑤ 前例のない状況への無策
- ⑥ オリンピック、IOCを絶対視、特別視し過ぎたから
の3点。
- ② 象徴はこの人物。これまでの大会を踏襲することしか考えなかった。



スポーツ界も独自の考えを示せないまま、大勢に従った。



◇ どうしていいか、わからなかった

中止や延期の前例はない。

組織委トップも、都庁側も、政権中枢でさえ、どうしていいか、うろたえるばかりだった。



◇ 日本は五輪を神聖視し過ぎる

オリンピックはそれほど神聖なものではない。日本はそれを特別視し過ぎている。IOCについても同様。



この【講演要旨】は講師・佐藤次郎様が、当日の講演の際に使用されたパワーポイントのプレゼン資料を、ワード版に会報担当者が編集したものです。

◇ **その結果、五輪離れが加速**

説明抜きでの強行開催。それで多くの人がそっぽを向いた。

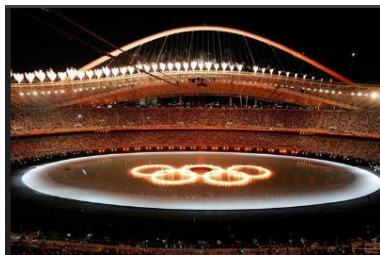


◇ **五輪の危機、以前から**

今回の東京で一気に加速した五輪離れ。だが、オリンピックの危機的状況が、既にさまざまな側面であらわになってきているのは、かねて広く知られている通りだ。

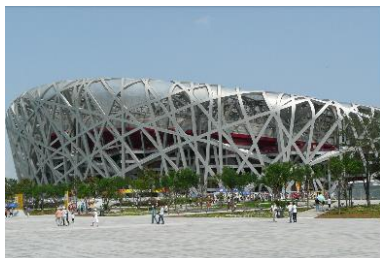
◇ **巨大化が進む大会**

2004年アテネで参加国・地域が200に。肥大化も問題。



◇ **カネのかかる五輪、ますます**

開催費増大が顕著に。国家挙げでの北京大会はその典型。



◇ **IOCも危機感を抱いた**

拡大路線を推進してきたIOCも、さまざまなゆがみに危機感を抱いた。その表れが「アジェンダ2020」だ。

◇ **「アジェンダ2020」の意味とは**

IOCが2014年に打ち出した五輪の中長期改革案。そこには40の提言が含まれているが、注目すべきは「一部競技の開催都市以外、また開催国以外での実施」を認めたこと。なりふり構わぬ方針変換だった。

◇ **そして誰もいなくなった「2022年」**

2022年冬季大会は、当初、ミュンヘンやストックホルム、オスロなどが開催の意思を示していたが、撤退。

結局、北京に決まった。夏季大会を開いたばかり、しかも冬季競技に縁のない都市での開催はまさしく異例だ。

◇ **夏季大会でも辞退続々**

立候補都市が次々と消えていくのは冬季だけではない。

2024年大会では、開催の意思を示していたハンブルク、ローマ、ボストンなどが相次いで撤退した。

24年のパリ、28年のロサンゼルスと同時に決定も衝撃的。

◇ **どこへ行く オリンピック**

岐路に立たされたオリンピック。

開催を望む都市が激減し、政府の権力が強大な国でしか開けないのではという懸念も。

打開策は。オリンピックはどう舵を切れればいいのか。

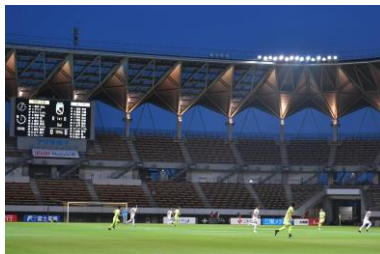
◇ **危機に輪をかけたコロナ禍**

オリンピックの危機的状況はコロナ禍でさらに深まった。大混乱の出口はまったく見えない。



◇ **コロナが突きつけた課題**

東京は強行開催。が、今後は…。中止、延期、無観客の検討も必要。



◇ **いま、何をすべきか**

まず、際限なく膨らんできた経費を抑えて、質素な大会を志すべき。

「ビジネス最優先」を脱却し、スポーツ大会としての原点に帰るべきだ。

それでもオリンピックの商品価値は変わらないはず。

◇ **オリンピック競技とは？**

IOCは次々と新競技を取り入れる。が、それは本当に五輪にふさわしいのか。



◇ **いまこそ「未来」を考える時**

オリンピックは世界の貴重な財産だ。持続可能性のある形をどうつくっていくべきか。

ひたすら巨大化を目指し、ビジネス最優先で突っ走ってきた五輪。いまこそ、あるべき姿を真摯に考えねばならない。

◇ **世界中で考えたい**

コロナ禍のもと、オリンピックは「持続」か「衰亡」かの岐路にある。

今後の針路をどうとるべきか、世界中のスポーツ人やファンがこぞって考える形をつくりたい。

2020東京オリンピック 観賞日記

宮本 直紀

大相撲では、いつも元横綱北の富士が観戦記を毎日書いているので、真似をしてオリンピックの観賞日記を書いてみようと思った。最後まで書けるか？だったが、何とか7月21日から8月8日の19日間の日記を書くことができた。

【7. 21(水)】

- ◇ ソフトボール予選：日豪戦を見た。8対1のワールド勝ち。
 - ・先取点を取られたが、すぐ同点に追いつき3本のホームランで完勝。・上野投手は素晴らしい！
- ◇ 夜は女子サッカー予選：カナダ戦1対1の引き分けで勝ち点1。
 - ・なでしこジャパンは岩淵のゴールで追いついたが、なかなか点が取れず、PKを外すなど苦戦。

【7. 22(木)】

- ◇ ソフトボール：メキシコ戦
 - ・延長8回3対2でサヨナラ勝ち。
 - ・上野投手の連投。
- ◇ 途中でI氏の卒寿のお祝いのため外出し、ネットで勝利を確認。
- ◇ 夜は男子サッカー南アフリカ戦：南アは選手がコロナに感染し、試合そのものが危ぶまれたが開始2時間前に無事開始。
 - ・ボールの支配は日本がリードしていたが、得点に至らず後半で久保のシュートが決まり勝利。
 - ・感想：日本選手にイエローカードが2枚出たが、大げさに倒れる南アチームの選手の「くさい演技」「審判」に？
 - ・大リーグのストライク・ボールの判定など時折疑問を感じるが、審判の技術・感情などを想い、改めて審判の仕事は大変だと思った。

【7. 23(金)】

- ◇ 今日が開会式：スポーツの日だ。
 - ・前日のコロナ感染者は東京都が1979名・神奈川県が631名、どうなるか？
 - ・開会式3時間半、205ヶ国の入場行進を殆んど見たが、聖火の点火はまだ。眠くなっていたが我慢。
 - ・感想としては、やや間延びした感はあるが、最後に長嶋・王・松井が見られ、特に長嶋の笑顔と大坂ナオミの点火から、モハメド・アリの聖火リレーを思い出した。
 - ・長時間にもかかわらず陛下のスピーチ。やや遅れて立ち上がった総理・都知事が印象に残った。
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/431e9db6-e14a-46fc-ba30-8fb863b81cf8/>

【7. 24(土)】

- ◇ 夜更かししたので眠いが、何となくバドミントンの混合ダブルスを見たが、日本ペアは逆転で勝利。
 - ・バドミントンも結構激しい戦いで面白い。
- ◇ 卓球は混合ダブルスを見た。
 - ・期待の水谷・伊藤美誠組が楽勝で準々決勝進出。
- ◇ いろいろな種目が放送された。
 - ・男子バレーボールはベネズエラに快勝。
 - ・柔道で高藤の金・渡名喜の銀。
- ◇ 有望といわれていた競技。
 - ・鉄棒は内村の落下・池江の400米リレー・瀬戸の400米個人メドレーが共に予選落ち。重量挙げの三宅選手の敗退・サッカー女子の対イングランド戦敗退と日本勢は不調。
- ◇ 気になったのでネットで21日のサッカーの審判が、どこの国かを調べたがベネズエラ人。

・ベネゼエラは南アとは特に関係性はなさ
そうだが、韓国とは親密で日本に厳しかったのでは？とか。

・審判の下手さ加減の書き込みが多数あり
納得！

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/77237be2-5f7a-4c6d-b0f2-7d631bade29c/>

【7. 25(日)】

- ◇ 今日盛り沢山の競技が行われた。
- ◇ テレビのチャンネルをアチコチ切り替えながら、水泳・卓球・バドミントン・スケートボード・ソフトボール・水球・柔道等たくさんの喜怒哀楽を観戦。
- ・最初に印象に残ったのは男子400米自由形、予選で8位のチュニジアの選手が優勝した時のコーチの喜びよう、次いで選手の信じられないといった笑顔。
- ・阿部一二三・詩の兄妹のW金メダル。
- ・ソフトボールの対カナダ戦のサヨナラ勝ち等々。
- ◇ 夜は男子サッカー
 - ・開始早々の久保・堂安のゴールシーン
 - ・終盤は10人になったメキシコの反撃でヒヤヒヤしたが・・・
- ◇ 3人制のバスケットボールは結構面白い。
 - ・ルールも何となく理解できた。
- ◇ 400米個人メドレーの大橋は嬉しかったが、瀬戸の予選落ちは余計に残念。
 - ・決勝に備えて終盤力を抜いたようだが見通しの甘さ？……
- ◇ スケートボードの堀米の金メダルは立派。
 - ・転倒続出・ローラースケートやアイススケートで遊んだことはあるが、難易度等がイマイチ理解できない。
- ◇ 家から一步も出ないでコロナも気にせず、ご指示通りテレビ観戦の一日でした。
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/68c90195-26b5-46c0-bd33-481b556b7d25/>

【7. 26(月)】

- ◇ 朝のネットで大谷の37号ホームランと13個目の盗塁を確認。
- ◇ ソフトボール米国戦：勝っても負けてもどうでも良い試合？
 - ・サヨナラ負けだが、エースは温存し、明日勝てば良いと思ってみている。
- ◇ 水泳200米バタフライは瀬戸の巻き返しに期待したが予選落ち、本多は予選通過で対照的。
- ◇ 卓球混合ダブルス決勝：
 - ・中国選手に2セット取られたときは、やっぱりダメかと思ったが、驚異的な粘りで金メダル。
 - ・水谷・伊藤ペアは磐田市の同じクラブの仲間だったとのこと。年の差ペアの頑張りに感動！
- ◇ 体操男子団体は惜しくも銀。
 - ・橋本の個人種目別に期待。
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/82e9e9c8-666f-4429-8441-0fd5f4e77294/>

【7. 27(火)】

- ◇ ソフトボール
 - ・米国に3対0で完勝し金メダル。
 - ・チームワークの勝利。
- ◇ 個人は大坂ナオミが3回戦で敗退。
 - ・ナオミは強いのかイマイチわからない。
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/b2342997-b16d-4c5b-b853-e2b88ad4937c/>

【7. 28(水)】

- ◇ バドミントン
 - ・期待していた桃田が完敗。
 - ・実戦の不足か？研究されていたのか？
 - ・それともプレッシャー？
- ◇ 体操男子個人総合：
 - ・橋本大輝が最終演技の鉄棒で逆転優勝。

- ・ハラハラドキドキだったがヨカット！ヨカット！！
 - ・中国選手が採点にクレームを付けていたようだが？
 - ◇ 柔道：新井千鶴の準決勝で、16分を越える死闘に感動。
 - ・決勝では簡単に勝利し笑顔が素敵！
 - ◇ 女子200米個人メドレー：大橋悠依が400米に続き優勝。
 - ・タッチの差だったがアナウンサーも興奮していた。
 - ・あまり期待していなかったがアツパレ！アツパレ！！
- <https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/db7e7905-dd01-4e79-96ea-01d211501f2e/>

【7. 29(木)】

- ◇ 前日の体操でクレームした中国の鉄棒の選手が、演技前後に審判に挨拶をしなかったので0.3の減点になったとか？
 - ・そんなルールがある事を初めて知った。
- ◇ 卓球伊藤は中国選手に完敗し3位決定戦に勝つ。
 - ・美誠ちゃんのサーブをする時の真剣な表情が印象的。
- ◇ 錦織は勝てば準決勝進出だったが、予想通りジェコビッチに完敗。
 - ・差が歴然で今後も何度やっても勝てそうもない。
- ◇ コロナが東京都で3,965人、神奈川県1,164人(川崎427人・麻生区29人)危機的状況。

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/536314ca-4c58-49ec-879a-92b3ed7f3791/>

【7. 30(金)】

- ◇ 水泳200米メドレー：
 - ・瀬戸と萩野が決勝で惜しくも4位と6位。
- ◇ 女子400米メドレー：

- ・リレー6位で決勝へ。メダルは難しそうだが・・・
- ◇ フェンシング男子エペ団体が金。
 - ・ランプの色で得点。
 - ・動きが早くどこを突いたかわからない。
 - ・夜のハイライトで優勝を知った。
- ◇ 女子サッカー：
 - ・なでしこはスウェーデンに完敗。
 - ・詰めの甘さが歯がゆかった。
- ◇ コロナは東京都で3,300人。神奈川県1,418人(川崎427人・麻生区28人)

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/651ddd25-819e-4543-9627-bccd52164b29/>

【7. 31(土)】

- ◇ ゴルフ：松山選手が前日雷雨中断後の早朝のプレーでバーディー3位に。
 - ・3日目終了時点で首位とは1打差。
 - ・卓球や柔道は目が離せないが、ゴルフはのんびりとした気分で見られる。
 - ・明日が楽しみ。
- ◇ 男子サッカーはPK戦でニュージーランドに辛勝。
 - ・次戦スペイン戦がカギ？
- ◇ 陸上男子100米：3人とも予選敗退。
 - ・陸上では世界との差を感じる。
- ◇ 柔道団体戦は金メダル確実といわれていたが、フランスに敗れ銀。
 - ・個人戦のメダルラッシュで安心したのか、力を出し切ってしまっていたのか？
- ◇ コロナは東京都が4,058人。神奈川県1,580人(川崎407人・麻生区33人)

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/f30679a8-fe40-42fa-9744-98441de3b955/>

【8. 1(日)】

- ◇ 自転車 BMX 男女・女子フリースタイル
 - ・新種目
 - ・日本選手有望との事だったが、メダルに

は届かず。

- ◇ ゴルフ:松山はチャンスの8番ロングホールでカラスの鳴き声に邪魔された?
 - ・3位決定戦の7人プレイオフでも敗れて銅メダルを逃す。
 - ・銅メダル7個出してもよかったのに! 予備の在庫なし?
- ◇ 水泳:池江選手の復活・健闘。
 - ・泳げたことで幸せとのこと。
 - ・心配だったが体を休めて、3年後のパリ大会で活躍してほしい!

<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/7c967b04-b458-4793-98af-f3b984c3904b/>

【8. 2(月)】

- ◇ 今日はどうしても見たい競技もない。
 - ・少しテレビでのオリンピック疲れが出てきたような気がする。
 - ◇ 夜、テレビをつけたら卓球女子団体の対台湾戦。
 - ・3対0で楽勝し準決勝は香港。
 - ・勝っても決勝は中国の厚い壁?
 - ◇ 途中でチャンネルを回したら、野球の米国戦。
 - ・マー君が3点取られ6対2と4点リードされ諦めかけたが、延長サヨナラ勝ち。
- <https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/727e376a-d357-4343-8b42-21c9f6d88315/>

【8. 3(火)】

- ◇ 今日の楽しみは夜の男子サッカー。
 - ・強豪スペインに勝てるのか?
 - ・やっぱりスペインに頑張ったが惜敗。
 - ・ボールのキープ率が40%程度で、少ないチャンスで得点するのがランキング上位との戦い方だが残念。
- ◇ ハーフタイム中に卓球女子団体戦で平野美宇が頑張っているのを見てホッとした。
 - ・一時は美誠・美宇と騒がれたが、伊藤美

誠の陰に隠れていた。

- ・地道な努力が報われた。
 - ・銀以上が確定だが決勝は多分中国戦? 頑張っしてほしいが...
- ◇ 体操種目別:橋本は堂々の金、内村が出ていれば金・銀? 欲張りか? ..
- <https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/011f83e5-6ccc-4b45-8e86-2bd821afc881/>

【8. 4(水)】

- ◇ 今日は女子ゴルフ第1日目。
 - ◇ 朝は、女子スケボー3人(全員が十代)とも決勝へ。
 - ・直前まで金・銀・銅の独占の可能性があったが、四十住さくらの金と、開(ひらき)心那(12歳)の銀。
 - ・予選トップの岡本は惜しくも4位に。
 - ・スケボーは新種目で、日本人選手は大分前から準備していたのがよかったのか?
 - ・男子の堀米選手の金と併せて、これから若者には人気か?
 - ・転倒が続出していたが、年寄りも転ぶのが一番いけないことなのに...
 - ◇ ヨットレース、今日が11日目で最終日というので暫く見ていたが、日本は上位が無理そうでありレースの順位決め方が理解できず観戦を断念。
- <https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/1f4bffb4-5e68-4ead-9d8c-36c80f63f50e/>

【8. 5(木)】

- ◇ 某市の市長が表敬訪問に来たソフトボールの金メダリストから、首にかけてもらった金メダルを、マスクを外して「ガブリ」。
 - ・しっかりテレビで放映された。
 - ・話題の多い市長だがこれはレッドカード?
- ◇ 女子ゴルフ2日目:猛暑の中で選手は頑張っている...
- ◇ 競歩:猛暑の中での銀・銅メダル。お疲れ

様。よく頑張った！！

- ◇ 空手女子：清水選手、微差での銀メダル。気迫のなかに美しさあり！！
- ◇ 卓球女子団体戦：ダブルスの第一セットを取るなど、善戦したが中国には勝てない。
 - ・銀メダルは上出来！！
- ◇ レスリング女子：川井梨紗子、前日の妹に続き姉妹で金メダル。立派！！
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/18331d68-817d-4564-87b2-d5befb522d12/>

【8. 6(金)】

- ◇ 卓球男子団体戦：ダブルスで先勝し、張本・水谷の頑張りで韓国に勝利。
 - ・張本はやんちゃ坊主のイメージもあったが、個人戦の負けを引きずらずに良くやった。
 - ・水谷のプレー中のタイムアウトに眼鏡を拭くなど成長した。
 - ・女子ゴルフ3日目：稲見・畑岡がんばっている。何とかメダルを・・・
- ◇ サッカー：メキシコとの3位決定戦。早々に2点取られ終始劣勢。
 - ・結果は1対3での敗戦だが、シュートは殆んど枠の外で完敗。
 - ・終盤の三苦のドリブルと久保のインタビューでの悔しがり方が印象的。
 - ・ワールドカップに向けての成長に期待。
- ◇ 空手男子：喜友名選手、沖縄初の金メダル。見事な形で迫力満点の演技。
- ◇ 女子1500米：田中希美に感動。
 - ・華奢な体で強豪に交じり8位入賞。
- ◇ 女子バスケット：あまり興味はなかったが、何となく見ていたら3ポイントシュートが面白いように決まってフランスに勝利。
- ◇ 男子400米リレー：期待していたが。
 - ・スタートよく飛び出し一瞬はおっと思ったのも束の間で痛恨のバトンミス。
 - ・アメリカの予選落ちなど勝負はやってみないとわからない。
 - ・4人のインタビューは見るのも辛かった。
- ◇ スポーツクライミング：楽しみにしていたがライブで見損ないハイライトを見た。
 - ・金を期待されていた野中・野口が銀・銅は立派だ。
 - ・難易度・どうやって凸凹を設定しているのかなど疑問も？
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/a586738b-5dd3-4fad-a329-90fc66b1a782/>

【8. 7(土)】

- ◇ 朝から女子マラソン：増田明美さんの解説が細かくて感心する。
 - ・結果は一山選手が8位入賞。
 - ・よく頑張ったと思うがケニヤやエチオピアの選手には、なかなか勝てそうもない。
 - ・11時間前にスタート時間が1時間早まったとか？アスリートたちはどう思っているだろうか？あまりにお粗末？
- ◇ 女子ゴルフ4日目：稲見が堅実なゴルフで1打差の2位。
 - ・途中で雷雲のため17番の第2打で中断。
 - ・雷は敵か味方か？
 - ・1位タイでの最終ホールはバンカーへ。
 - ・よらず入らずの結局ボギーで2位タイの銀・銅のプレイオフ。
 - ・プレイオフを制し銀、アツパレ！！
- ◇ ボクシングで女性の入江聖奈が金。
 - ・他にも並木月海が銅とレスリング
 - ・柔道と日本の女性の格闘技？の躍進は喜んでいいのか・・・
- ◇ 野球：米国に勝ち無敗の金メダル。
 - ・アツパレ！！ただし6ヶ国だけの参加で、ソフトボールとも次回パリではなくなってしまふようだ。
 - ・欧州では野球は人気がないようで、その次のロスアンゼルスでは復活してほしいが・・・
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/1f0b8719-e79d-4b67-a1b4-427a1305793b/>

【8. 8(日)】

- ◇ テレビをつけたら、6日に行われた女子の近代5種競技をやっていた。
 - ・水泳・フェイシング・馬術・射撃・ランニングを行い、日本は二人とも上位入賞は出来なかったが面白いと思った。
 - ・ドイツの近代五種の女性監督が飛越を拒否した馬を殴りつけ、東京五輪から追放されたニュースを見て笑った。
 - ・気持ちはわかるが明らかな動物虐待。
- ◇ 男子マラソン：期待は日本記録保持者の大迫だが。
 - ・インタビューでは100点満点のレースと語っていたが結果は6位入賞。
 - ・頑張ったと思うがオリンピック連勝のキプチョゲ(ケニヤ)とは大差。
- ◇ 女子バスケットボール：アメリカとの決勝戦。
 - ・やはり格が違う。銀メダルはアツパレだが敗戦濃厚でチャンネルを変えた。
- ◇ ケイリンをやっている男子の脇本・新田の名前は知っていたので期待したがメダルには届かず。
- ◇ 女子の自転車スプリントオムニウムは採点方法がイマイチわからなかったが、転倒しても諦めなかった梶原選手の銀メダルは立派。
- ◇ いつの間にか入賞できそうな競技を選んで見ている自分に気が付いた。
- ◇ 敗戦直後の敗者へのインタビューは気の毒であまり聞きたくない。
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/df6587ff-8a32-42ed-8a76-e33ac1bdd15e/>

【閉会式】

- ◇ 余り関心はなかったが、眠いのを我慢して見た。
- ◇ 開会式でも感じたが電飾照明のチカチカとけん玉・お手玉・盆踊りなど日本の文化を披露していたことと、VIP？からの感謝の言葉があったが、なんとなく「終わったか」。
- ◇ 「無観客 観戦無しなら 感染なし」
「コロナ禍で お・も・て・な・し より も・て・あ・ま・し」だと思っていたが、何とか閉幕。世の中の評価はどうなるだろうか？
<https://sports.nhk.or.jp/olympic/highlights/content/55df5d45-bede-468f-8a2f-4918cb6f8182/>

【感想】:

- ◇ 番狂わせ・下馬評・プレッシャー・成長・伸び悩み・国民性・新種目・ボランティア・医療従事者・選手へ又は選手からのコロナの感染・メダルの数・知らなかったことなど、いろいろ感じる事が多く、私なりにオリンピックを楽しみました。
- ◇ 卓球水谷が引退を表明。眼の不調で悩んだようでお疲れ様！！
- ◇ 野球の稲葉監督・マラソン大迫・重量挙げの三宅・体操内村などが引退？世代交代は世の常か。
- ◇ 中止の声が圧倒的に多かったオリンピックだが、これからパラリンピックも実施されそう。
- ◇ コロナの感染者はますます増えていて、若者へのワクチン接種や外出自粛の声も思うように行っていないようだが、もう数ヶ月で結論は出るのだろうか？

三角点のこと(その2) ～等級・構造など～

平塚 征英

登山をして山頂に着いたとき、三角点の標石にタッチする。皆さんもしたことがあると思います。心身を癒されますね。三角点は、登山者にとっては最も親しい建造物です。

お孫さんに「四角いのになんで三角点なの？」と聞かれて、困った人はいませんか。

【最高標高一等三角点】は、富士山でも北岳でもなく「赤石岳」(標高3,121m)です。それは、一等三角点が山の高さを測量するためではなく、あくまでも地図作成と今後の測量を目的としたからです。



赤石岳一等三角点(3,121m)



富士山二等三角点(3,776m)



北岳三等三角点「白根岳」(3,192m、改埋) *
* 102年ぶりに一新: 下記 URL、GR コード

https://www.minamialps-net.jp/cat_news/3289



千代ヶ丘小学校四等三角点

一等三角測量は、近代的な地図を作るためにスタートしました。従って、測量を始めた当初は正確な地図は「伊能図」しかなかったのです。

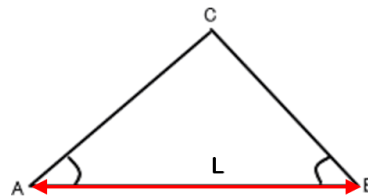
三角点の約半数は明治・大正時代に設置されており、一等三角点の約4割は標高500m以下の低地に設置されています。また、一等三角点の重さは約90kg(24貫)あって、明治・大正時代には、人夫が柱石等を背負って山頂まで運びました。

三角点とは、三角測量を行う時に地表に埋設された基準点のことです。

経度・緯度の基準になるのが「三角点標石」で、高さの基準になるのが「水準点標石」です。

1. 三角測量とは

三角測量とは、三角形の一辺の距離(L)と二角の角度Aと角度Bを実測し、他の二辺の距離ACと距離BCを計算で求める方法をいいます。



国土地理院発行の地図(2万5千分の1や、5万分の1、20万分の1など)に「△」の記号で表示されているのが三角点で、一等から四等までの4種類があり、重要さや基本的性質から区別されています。

現在の国土地理院発行の地図は、明治年間に陸軍参謀本部陸地測量部の測量により

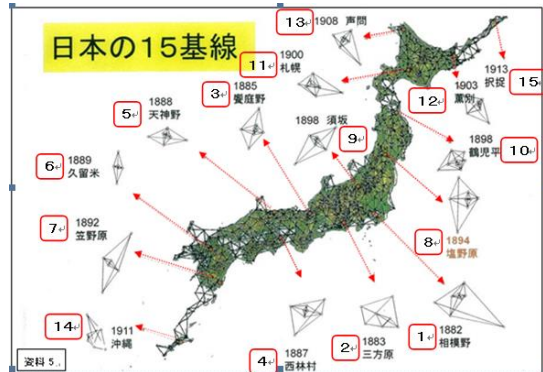
完成された5万分の一図を引き継いで、全国を単一の基線から測量すると末端での誤差が大きくなるので、14の基線を設置して各基線から三角網を拡大してゆき、隣接する境界で誤差の少ないようにしました。

基線測量は1882年(明治15年)に実施され

た相模野基線(神奈川県相模原市)から始められた。

それ以降、1913年(大正2年)の択捉基線(北方領土)の設置まで、実に31年の歳月を費やして正確な基線の距離を測定し、一つ目の測量の土台となる15の基線を完成させた。

設置順	名称	所在地	測定年度	使用尺	所要日数	基線長 m
1	相模野	神奈川	1882 明治15	4mヒルガード	106	5,209.9697
2	三方原	静岡	1883 明治16	3m鋼鉄測桿	内務省	10,839.9757
3	齋庭野	滋賀	1885 明治18	4mヒルガード	56	3,065.7239
4	西林村	徳島	1887 明治20	4mヒルガード	51	2,832.2124
5	天神野	鳥取	1888 明治21	4mヒルガード	54	3,301.8051
6	久留米	福岡	1889 明治22	4mヒルガード	45	3,161.0071
7	笠野原	鹿児島	1892 明治25	4mヒルガード	68	5,875.5088
8	塩野原	山形	1894 明治27	4mヒルガード	76	5,129.5872
9	須坂	長野	1896 明治29	4mヒルガード	68	3,291.9120
10	鶴尻平	青森	1898 明治31	4mヒルガード	51	4,069.0309
11	札幌	北海道	1900 明治33	4mヒルガード	74	4,539.7703
12	薫別	北海道	1903 明治36	4mヒルガード	89	4,069.8502
13	声間	北海道	1908 明治41	4mヒルガード	113	2,677.5035
14	沖縄	沖縄	1911 明治44	25mインバー	85	4,151.6673



右図は見づらいますが、左表の1～14の設置場所の概略位置をご覧ください。15: 択捉

以上のように、この一等から四等までの三角点は、地殻変動その他を知る重要な点なので、一等18cm角、二等と三等は15cm角、四等は12cm角の御影石(花崗岩)もしくは、硬質の岩石の標石を、その地点に埋設して、上面の中央に+が刻まれてあって、その中心が三角点の位置であり、高さになっています。

その三角点の上面に+の記号で彫られている部分で、方位を見ます。

2. 全国の三角点の数

一等～四等まで全国で約11万点あります。

種類	点数	柱石寸法 (cm)	設置間隔 (約 km)
一等三角点	972	18cm角	40
二等三角点	5,056	15 cm角	8
三等三角点	32,699	15 cm角	4
四等三角点	64,557	12 cm角	2
合計	103,284		

<数字は国土地理院発表(2003年3月末)による>

【一等三角点】

- ・ 設置間隔は約40km、必要に応じ約25km間隔の補点が設置される。全国に約1000点。
- ・ 柱石の一辺は18cm、破壊や破損に備えて、柱石の直下には2枚の盤石が埋設されている。

【二等三角点】

- ・ 設置間隔は約8km。全国に約5000点。
- ・ 柱石の一辺は15cm、破壊や破損に備えて、柱石の直下に盤石が埋設されている。

【三等三角点】

- ・ 設置間隔は約4km。全国に約3万2000点。
- ・ 柱石の一辺は15cm、破壊や破損に備えて、柱石の直下に盤石が埋設されている。
- ・ 現在の技術水準では、2万5千分1地形図を作成するための位置の基準は、3等以上の三角点で充足される。

【四等三角点】

- ・ 設置間隔は約2km。全国に約6万5000点。
- ・ 柱石の一辺は12cm、破壊や破損に備えて、柱石の直下に盤石が埋設されている。
- ・ 地籍調査又はこれに相当する調査の測量の基準点として、国土交通省土地・水資源局国土調査課の委任を受け、国土地理院が設置する。

【この他に、五等三角点もある】

- ・ 明治22(1899)年に陸地測量部が「海中の小岩礁の最高頂を観測し、その概略位置及び高さを算定し、これを五等三角点と称する事、次いで市街地の高塔等も準じる事と定めた。」
- ・ 三角点標石を設置するのが困難な小岩礁は、その最高点を五等三角点とし、火の見櫓や煙突等の市街地の高塔もこれに準じた。
- ・ 五等三角点は四等三角点以上への切り替えや廃止が行われたため、現在は沖縄県の小島の2ヶ所(神山島・ハテ島)が残存。

【新しい測量技術】

従来の三角測量に代わって、電波や光波による距離測定の精度が高まり、GPSなどの測量技術も進歩したため、三角測量は殆ど行われなくなっている。

GPS衛星からの距離は、GPS衛星から発信された電波が受信機に到達する時間から求めるが、測量の方法によっては、10km離れた2点間の相対的な位置が数cmの精度で求められる。

現在では、三角点に代って電子基準点が役割を果たしている。

- ・ 電子基準点は、全国約1,300ヶ所に設置されたGNSS連続観測点である。
- ・ 外観は高さ5mのステンレス製ピラーで、上部にGNSS衛星からの電波を受信するアンテナ、内部には受信機と通信用機器等が格納されている。
- ・ 基礎部には、電子基準点付属標と呼ばれる金属標が埋設してあり、トータルステーション等を用いる測量にも利用できるようになっている。

【川崎市横浜東部の三角点】ウェブサイト

川崎市7区と横浜市西北部6区の三角点をカバーしたサイト。下記 URL をクリック。

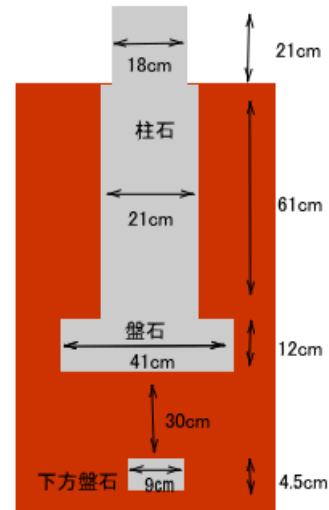
<https://dankaipachi.cocolog-nifty.com/kawa/2020/09/post-a6c057.html>

【国土地理院】ウェブサイト URL から、「地図・空中写真閲覧サービス」を開き、「サービス内容」最下部にある「同意する」をクリックすれば使用可能となります。

<https://www.gsi.go.jp/tizu-kutyu.html>

4. 三角点の構造

三角点の標石は、地上に出ている部分が約4分の1の高さで、地下には残り4分の3の柱石が埋まっている。



- ・ 一等三角点の場合は、更に盤石の下の30センチに下方盤石が埋められている。
- ・ 盤石と下方盤石は、もしものために復元できるように設置したもので、それぞれの中心線が一致している。

【劔岳 (点の記) : 新田次郎著】

明治年間に日本の山の殆ど(宗教登山で開山された山を除く)が陸地測量隊によって初登頂がなされています。

そして、最後に残された山は、弘法大師がワラジ3000足を使っても登れなかったという「劔岳」。

その最後の山に日本山岳会の小島鳥水(うすい)が初登頂をするというので、そこで山岳会より先に測量隊の旗を立てなければ陸地測量部の恥であるということから、劔岳登頂を命じられた柴崎測量官が未踏の山「劔岳」に挑戦することになりました。

しかし、幾度もの挫折を乗り越え、決死の覚悟でやっと劔岳に初登頂したら、そこには既に奈良朝時代の錫杖の頭と劔があったという。日本の宗教登山の歴史を垣間見た遺物だった。・・・